



公益財団法人 宮城県対がん協会 **ともしび**

TOMOSHIBI



当協会の 特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理



写真:宮城県観光プロモーション推進室

CONTENTS

- | | |
|-------------------------------|--|
| 2 新年の挨拶 | 9 街頭啓発活動/リレー・フォー・ライフ/
ピンクリボン仙台推進委員会講演会 |
| 3 新がん検診センターに期待すること | 10 健康コラム |
| 4 がん検診センター建設工事の進捗状況 | 12 新がん検診センター建設募金名簿・寄付のお願い/
篤志・黒川・賛助会費名簿 |
| 5 第62回日本消化器がん検診学会総会報告 | 15 継続寄付のお願い |
| 6 2024年度がん検診事業説明会/がん予防研修会 | 16 2024年度黒川利雄がん研究基金研究助成金募集のお知らせ |
| 7 がん征圧全国大会/令和5年度「宮婦連ブロック別研修会」 | |
| 8 がん征圧月間行事 | |

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的に!



ブー子ちゃん がん助くん
がん征圧イメージキャラクター

令和6年

新春のご挨拶



公益財団法人
宮城県対がん協会

会長 下瀬川 徹



新年明けましておめでとうございます。

皆様はお正月をどのように過ごされたでしょうか？ 年頭にあたり、今年も皆様が健康に過ごされ、明るい一年となりますようお祈り申し上げます。

さて、一昨年2月に始まったロシア・ウクライナ戦争は、まもなく2年になろうとしています。停戦に向けた兆しすらなく、東西社会の分断とそこから生まれる各国の軋轢はますます深刻化しています。昨年10月にはハマスによるイスラエルへの大規模攻撃をきっかけとしてイスラエル軍によるガザ地区への凄惨な報復攻撃が開始され、現在も厳しい戦闘状態が続いています。世界情勢はこれまでにない緊迫した状況で新年を迎えることになりました。一方では、地球温暖化に起因する異常気象によって地球規模の災害が年々激しさと広がりが増えています。全世界が一日も早く平和を取り戻し、全ての国と人が団結して人類の将来のため真剣に課題に取り組むよう願います。

国内では昨年5月に新型コロナウイルスが2類相当から5類に格下げとなり、ワクチン接種の普及や治療薬の開発によって漸くこの感染症の脅威が治まりつつあるように思います。コロナ禍で過ごした数年間は私たちの生活様式や労働環境を変え、物事の価値観や人の繋がり方にも大きな影響を与えました。これからは、コロナ以前とは違ったポストコロナ社会への対応が求められる時代となります。最近では観光地に向かう方々も増え、海外からの観光客も目立つようになり、コロナ以前の活気が少しずつ感じられるようになりました。私たちはいま平和に暮らしていることに感謝し、日々の生活を大切に、充実した一年を過ごせるようにしたいものです。

当協会の新がん検診センター建設は順調に進んでおり、4月のセンターオープンに向けて医療機器の整備や、快適な受診環境に必要なソフトの整備

など最終段階に入りつつあります。新センターは1階に「がん・生活習慣病健診フロア」、2階には「消化器内視鏡検診フロア」、3階は「乳がん・子宮がん検診に対応する女性専用フロア」と検診の目的をフロアごとに明確化し、必要な機能を集約します。新センターは次世代型のがん検診を目指し、胃がん検診ではX線検診の他に内視鏡検診の充実と地域の拡大に取り組み、より精度の高い胃がん検診の提供に努めます。また、大腸内視鏡室を3室用意し、今後も増加が予想される大腸がんのスクリーニングならびに精密検査体制を充実させます。子宮頸がん検診では、細胞診単独法に加えて今後見込まれるHPV検査の導入に向けた実施体制や精度管理体制の構築を進めます。乳がん検診では、当協会も協力して実施された「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験（J-START）」により有効性が証明されたマンモグラフィ検査と超音波検査の併用によるより精度の高い乳がん健診の実施体制の確立を目指します。がん・生活習慣病健診では、東北大学消化器内科との連携により、近年急速に増加しつつあるメタボリックシンドローム関連の肝疾患（MASLD、MASH）と肝がんのスクリーニングに努めるほか、膵がんなどの難治がんの早期診断法の開発にも取り組んでまいります。

令和6年の干支は「甲辰（きのえたつ）」。解説によれば「甲」は十干の始まりにあたり、生命や物事の始まりを意味し、「辰」は草木が伸長して形が整い、活気にあふれている様子を表すため、これからの成長をさらに形作っていく年をイメージできること。当協会もいよいよ念願の新がん検診センターがオープンする年となり、これまでも増して充実したがん検診を皆様に提供できるよう努めてまいります。

新がん検診センターに期待すること

2022年11月より建設を進めてきました新がん検診センターですが、2024年4月オープンを目指して工事も順調に進んでおります。

宮城県対がん協会は1958年の創設以来、がん検診の普及・啓発から1次検診と精密検査の実施、事後指導、治療結果の収集、集計・報告までのすべての検診プロセスを一元管理する宮城方式と呼ばれる精度管理システムの下、国内でもトップクラスの質の高い対策型がん検診を提供して参りました。

当協会の新がん検診センターでは、過渡期を迎えつつある各種対策型がん検診の対応はもとより、課題となっています受診率向上を意識し、さらに、国が進めるデータヘルス改革を踏まえ、AI(Artificial Intelligence) 診断の導入、PHR (Personal Health Record) や検診ビックデータの活用も視野に置いた施設整備計画を進め、単に検診を提供する検査施設と言うだけでなく、個別の健康情報を一元管理する精度管理センターとしての次世代型がん検診センターをコンセプトに施設整備計画を進めております。

新がん検診センターには検診・精検部門を増築棟に集約し、1階は人間ドックなどのがん・生活習慣病健診フロア、2階は上・下部内視鏡検査を行う消化器内視鏡検診センター、3階は乳がんや子宮がん検診を行う女性のためのがん検診フロアとしました。日本財団のご支援もあり、検査機器は全て最新の機器に更新します。

1階のがん生活習慣病健診フロアは、特定健診や人間ドック等を行うフロアです。時間予約制を導入し、できるだけ待ち時間を少なくしたスムーズな検査の実施を図ります。また、企業や協会けんぽなどの健診に付随して行うがん検診は、精度が高い検査であることはもちろんですが、精密検査に該当した方に対する受診案内や精検結果の追跡など精度管理にも力を入れております。当センターではがんの疑いのある方に対する精密検査を自施設でも実施しておりますが、精密検査を受けて治療が必要な疾患が見つかった場合は東北大学病院や県内の拠点病院と連携して最適な治療を受けてもらえる体制を作っています。病気を見つけることから治療のための専門医療機関への紹介まで一貫して実施できることが当

公益財団法人
宮城県対がん協会
がん検診センター

所長 加藤 勝章



協会の大きな特徴です。

2階の消化器内視鏡検診センターは上部消化管内視鏡検査が6室、下部消化管内視鏡検査が3室で、検診専門の医療機関としては国内でも有数の規模となります。上部消化管内視鏡検査は、全て経鼻挿入も可能な極細径内視鏡を用い、内視鏡挿入時の苦痛や咽頭反射の軽減を図ります。最新の極細径内視鏡は通常系の内視鏡と同等の良好な画質が得られるようになっており、特殊光を用いた画像強調観察も可能となっています。さらに、新がん検診センターではAI診断装置を導入し、検査精度の向上に努めます。大腸内視鏡検査については、上部と同じく最新機器を導入し、検査の苦痛軽減に努めます。近隣の方々であれば、小さなポリープなどがあればその場で切除するコールドポリペクトミーにも対応できるように体制を整備しています。

3階は女性のためのがん検診フロアで女性の方専用です。乳がん検診と子宮頸がん検診が一度に受けられます。キッズスペースも設けてあり、お子様連れでもがん検診が受けられるようになっています。子宮がん検診については、2023年度より婦人科の専門医として東北大学名誉教授の伊藤潔先生が当協会の細胞診センター長として赴任され、スクリーニングだけでなく精密検査も含めて国内でもトップクラスの精度の高い検診体制が整いました。婦人科の専門医が常勤している検査機関は国内でも数少なく、こうした点も新がん検診センターの大きな特色となっています。

宮城県対がん協会は長い歴史と高い精度管理を誇る検診機関であると自負しておりますが、これまで古い建物で受診者の皆様にもご不便をお掛けしてきたことと思います。2024年4月からは最新機器を取りそろえ、受診者の皆様にもより快適な環境で検査を受けていただけるようになります。当協会は、精度の高いがん検診を提供し、がんの早期発見早期治療によるがん死亡率の減少を目標に掲げ、県民の皆様の健康増進に少しでも寄与できるように努めて参ります。多くの皆様に新がん検診センターを利用していただけるよう願っております。

写真で見る建築中の新がん検診センター工事進捗状況

■全景写真(北東上空より)



2023年6月30日

■2階躯体工事



2023年8月1日

■3階躯体工事



2023年10月1日

■屋上工事



■内部写真



2023年10月5日

■1階内部



2023年10月5日

■2階内部

資料提供…熊谷組

第62回日本消化器がん検診学会総会報告

総会会長 加藤 勝章

公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター所長

2023年6月30日(金)～7月2日(日)仙台国際センター展示棟において第62回日本消化器がん検診学会総会が現地開催とオンライン配信によるハイブリッド形式で開催されました。第62回総会の会長は当協会がん検診センター所長加藤勝章が務めました。同総会の仙台での開催は前がん検診センター所長の渋谷大助先生が主催した第52回総会以来の10年ぶりです。新型コロナウイルスも5月8日から感染症法上の位置づけが5類感染症に引き下げられ、マスク着用なしでも社会経済活動ができるようになっていましたが、新型コロナウイルスは第9波の入口とも言うべき時期であるにも拘わらず、数多くの方に参加していただきました。

本総会は「集団のパラダイムシフト—効率的で効果的な消化器がん対策を目指して—」をテーマに多くの研究成果が発表されました。2024年度は第4期がん対策推進基本計画が始まる年でもあり、東北大学名誉教授で厚労省が

ん検診あり方検討会座長の大内憲明先生に「がん対策推進基本計画とがん検診のあり方について」と題したご講演をお願いし時宜にあったお話を伺うことができました。また、東海大学医学部公衆衛生学の立道昌幸先生に「職域におけるがん検診の精度管理と事業評価の考え方について」、京都大学健康情報学分野の中山健夫先生には「がん検診分野におけるヘルスリテラシーとSDMについて」、キャンサースクランの福吉潤先生には「ナッジ理論によるがん検診の受診率向上策」、帝京大学医療技術学部看護学科帝京大学濱島ちさと先生には「大腸がん検診のエビデンス:新たな評価方法による有効性の検証」と題したご講演をいただき、これからのがん検診を考える一助になりました。

本総会の全てのプログラムがトラブル無く、盛会に終了できたのも、関係各位のお力添えがあつてのことです。心から感謝いたします。



2024年度がん検診事業説明会

10月2日(月)県内各市町村及び主たる事業所の担当者等を対象に「2024年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会」がフォレスト仙台で開催されました。

説明会の冒頭、当協会下瀬川会長は出席者に向け、コロナ禍で減少した受診者の受診勧奨を改めてお願いするとともに、2024年4月開所予定の新たながん検診センターについて、受診される皆様に快適かつ効率的に受診いただくための次世代型検診の提供体制が整ったので、是非多くの県民の皆様にご利用いただきたいと述べました。



続いて、阿部事務局長より次年度のがん検診事業計画について説明が行われました。2023年3月に閣議決定された第4期がん対策推進計画を受け、目標に掲げられたがん検診受診率60%、更には宮城県がん対策推進計画の目標値である70%に貢献していく方針が説明され、出席した各市町村及び事業所担当者には、厚生労働省が作成した「受診率向上施策ハンドブック第3版」などを活用し、是非がん検診の申込数、受診数が増加するような取り組みや働きかけをお願いしたいと述べました。

最後に、宮城県保健福祉部阿部若菜様より、がん事業評価のためのチェックリストについて、ご説明をいただきました。

がん予防研修会

がん検診事業説明会に引き続き、がん予防研修会が行われました。プログラム1として、当協会細胞診センター伊藤潔所長より「子宮がん検診とワクチンに関わる最近の動向」と題したご講演をいただきました。子宮頸がんの仕組みやワクチンの重要性、HPV単独検診の懸念される問題などを説明されました。世界的に見ると減少に転じている子宮頸がんが日本では増加傾向にあり、ワクチン接種の推進と子宮がん検診の受診促進の必要性が説明されました。

プログラム2では、当協会がん検診センター浅沼清孝副所長より、宮城県の胃がん、胃内視鏡検診、仙台市胃内視鏡検診の現状と課題について説明されました。他のがん検診同様に受診率の向上が求められており、併せて精度管理の重要性、仙台市以外の市町村での胃内視鏡検診が受診できる体制の整備が必要であることが説明されました。



がん征圧全国大会

第56回がん征圧全国大会山口大会が9月8日(金)に山口県山口市かめ福オンプレイスで開催されました。今年のテーマは「維新の地からひろげよう新たながん対策」。主催は公益財団法人日本対がん協会と公益財団法人山口県予防保健協会(山口支部)。今年度は4年ぶりの通常開催となり関係者約400人が来場しました。

主催者を代表し日本対がん協会 垣添忠生会長から「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」と願い科学的根拠に基づくがん予防・検診の推進、がん患者さん家族を支援、正しい情報の発信普及を目指して努力してきた。山口での全国大会を機にわが国のがん対策がさらに進み大きく発展することを願っています」と挨拶がありました。

表彰式では2023年度日本対がん協会賞が4個人1団体に、協会賞の特別賞である第23回朝日がん大賞が1個人に贈られました。また2023年度がん征圧スローガン(「安心を 明日につなぐ がん検診」)入選者表彰、各県支部の永年勤続表彰が行われました。

記念講演には歌手の山本譲二さんが登場。山口県下関市出身の山本さんは「人生山あり谷あり～大腸がんを乗り越えて～」と題し、妻・悦子さんの乳がん罹患、そしてご自身の大腸がん罹患時の体験を語るとともにがん検診の重要性を訴えました。会場のリクエストに応え、思いがけずギター演奏によるヒット曲「みちのくひとり旅」の歌唱もあり、会場は大いに盛り上がりました。

場のリクエストに応え、思いがけずギター演奏によるヒット曲「みちのくひとり旅」の歌唱もあり、会場は大いに盛り上がりました。

リレー・フォー・ライブ・ジャパンやまぐち実行委員からの報告を内容とした山口県アピールのあとは時期開催地である埼玉県の埼玉県健康づくり事業団専務理事の挨拶があり2023年度のがん征圧全国大会は締めくくられました。

前日の9月7日(木)にはシンポジウムが開催され、「コロナ後のがん検診～第4期がん対策推進基本計画から」と題し4人のパネリストが第4期計画で掲げる「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す」という全体目標を踏まえ各種の施策について意見交換を行いました。



2023年度 日本対がん協会賞・朝日がん大賞の受賞者

■朝日がん大賞

秋山 正子

(あきやま・まさこ) 73歳
認定NPO法人 マギーズ東京
共同代表理事 センター長

■日本対がん協会賞

【個人の部】

伊東 武久

(いとう・たけひさ) 78歳
徳山中央病院 緩和ケア内科 主任部長

高橋 道子

(たかはし・みちこ) 80歳
東大宮クリニック 院長

広瀬 真紀

(ひろせ・まき) 73歳
福井県がん検診精度管理委員会 幹事

松本 常男

(まつもと・つねお) 71歳
山口県予防保健協会 副理事長

【団体の部】

地方独立行政法人
東京都立病院機構
東京都立駒込病院
(戸井雅和院長)

※敬称略、年齢は2023年9月1日現在

令和5年度「宮婦連ブロック別研修会」に参加しました

宮婦連では、毎年7月に県内をいくつかのブロックに分けて研修会を開催しており、今年は3会場での研修会が開催されました。

この会は、東日本大震災からの心の復興。新型コロナウイルス感染症の影響で停滞してしまった地域コミュニティの再生等を目的とした研修会です。

毎年会場での講話の時間をいただいておりますが、今年の当協会は、知っていますか?プレスト・アウェアネス~受けましょう

乳がん検診~というテーマで乳房を意識した生活習慣について、保健師から話をさせて頂きました。



- 宮城ブロック 7月 6日(木) 東松島コミュニティセンター
- 仙北ブロック 7月20日(木) 登米市祝祭劇場
- 中央ブロック 7月21日(金) 名取市文化センター

9月は「がん征圧月間」

がん講演会



令和5年度がん征圧月間行事の「がん講演会」が、9月27日(水)青葉区五橋の仙台市福祉プラザふれあいホールにおいて開催されました。講師に東北大学公衆衛生学分野教授の寶澤篤先生をお迎えし「生活習慣とがん検診でがん死亡を減

らそう」と題したご講演をいただきました。2人に1人ががんに罹患する現代。がんになるリスクを下げるための生活習慣や食生活、がんを早期に発見するための定期的ながん検診受診の重要性をわかりやすく説明して頂き、参加者は熱心に耳を傾けていました。



がん予防パネル展

9月1日(金)から15日(金)まで宮城県庁1階ロビーにおいて「がん予防パネル展」を行いました。期間中、多くの来庁者になん予防パネルをご覧いただきました。

また、9月27日(水)の「がん講演会」当日に行った「がん予防パネル展」では、パネル展示の他、乳房の視触診模型を使っての自己検診法を多くの方に体験していただきました。



懸垂幕

受けよう検診!9月は「がん征圧月間」
がん征圧月間を広く知ってもらうため
仙台市役所、泉・太白の両区役所に懸垂
幕を掲示させていただきました。



ラジオカー取材

9月13日(水)宮城県対がん協会に、東北放送ラジオカーの取材がありました。インタビューは直接生放送され、日本で最初に各種がん検診をスタートさせた宮城県対がん協会の歴史や、現在建設中の新がん検診センターのPRをさせていただきました。



街頭啓発活動

9月30日(土)当協会街頭活動の一環として、地下鉄泉中央駅ペデストリアンデッキで、がん検診受診の呼びかけを行いました。当日は、泉中央駅を利用する方などにがん検診受診を促すメッセージの入りウェットティッシュと新がん検診センター建設のお知らせを配布しました。手に取っていただいた方からは、「いつもがん検診を受けていますよ」などのお声もいただき、大変励みになりました。泉中央駅での活動後、Jリーグベガルタ仙台公式試合でブース参加したピンクリボン仙台推進委員会の活動に参加し、試合観戦に訪れたサポーターの皆様にもがん検診受診を呼びかけました。

(写真右は、郵便局のキャラクター「ぼすくま」とモモ妹(©Sony Network Communications Inc.))



リレー・フォー・ライフ

新型コロナウイルスの蔓延や自然災害の影響などで4年ぶりの開催となったリレー・フォー・ライフ・ジャパン2023みやぎが、10月14日(土)仙台市榴岡公園で行われました。当日は、仙台駅東口から会場の榴岡公園まで歩くメンバーズウォーキング、がん患者の方のお話を聞くサバイバーズトークなどのイベントの他、がん患者会サロンネットワークなどの支援団体や企業によるブースが出店され、当協会も街頭活動の一環としてブース参加し、啓発パネルの展示やグッズ配布を通してがん知識の普及啓発、がん検診受診を呼びかけました。約400人の参加者は「がんになっても自分らしく生きられる」「今は亡き大切な人を想って」などの想いを胸に歩き続け、閉会式ではその想いが記されたルミネリエにアかりが灯され、厳かにサイレントウォークが行われる中イベントの幕を閉じました。



ピンクリボン仙台推進委員会講演会

乳がんの正しい知識を広め、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを訴える「ピンクリボンリレートーク」が10月22日(日)にエル・パーク仙台を会場に開催されました。

(一社)日本がんバイオマーカー研究ネットワーク代表理事の小西宏さんを講師に、「乳がん検診を賢く活用するには」と題して、プレストアウェアネスと言われる定期的な乳房の自己チェックなどの重要性が話されました。



健診結果、そのままにしていませんか?

健診を受けっぱなしにしていませんか?結果はすみずみまで見ていますか?特に、**血圧・脂質・血糖値が高い方はそのままにしておくと、脳卒中や心臓病など重篤な病気につながります。**今のうちから、生活習慣を改善しましょう。また、**要治療や要精密検査に該当した項目については、必ず医療機関を受診しましょう!**

血圧が高めな方

高血圧が続くと血管はもろく、傷つきやすくなり、血管の壁が硬く厚くなってきます。その状態を動脈硬化といい、動脈硬化が進行すると血管が破れやすくなり、「脳卒中」や「心臓病」の原因になるばかりではなく、腎臓の血管も傷んで腎機能低下を招きます。

【家庭での血圧測定をしましょう】

自分の血圧を把握するためにも、毎日朝と夜の1日2回、上腕で測るタイプの血圧計で測定し記録しましょう!目安より高い値が続く場合は、記録を持って内科や循環器内科へ相談しましょう。



家庭における血圧の目安
135/85mmHg未満

血糖値・HbA1cが高めな方

健診で血糖値やHbA1c値に異常が出ても自覚症状がほとんどないため、そのままにしている人が少なくありません。高血糖の状態が続くと、糖尿病予備軍や糖尿病になります。

そのままにしておくと...



糖尿病の3大合併症は「し・め・じ」



神経障害

感覚・運動神経がダメージを受け、足先や手指の痛みやしびれを引き起こします。また、自律神経のダメージにより、立ちくらみや排尿障害、下痢、便秘などの症状が現れます。



網膜症

眼の網膜が傷ついて視力が低下します。重症化すると失明してしまいます。



腎症

腎臓の糸球体が傷ついて働きが悪くなります。重症化すると透析が必要になります。

血管が傷つき、
動脈硬化につながる

脳卒中・心臓病など
「命にかかわる
病気」を招く!

脂質が高めな方



コレステロールは細胞やホルモンの材料となる重要なものですが、増えすぎると血管壁にたまり、血流が悪くなったり、血管が詰まったりします。これが動脈硬化となり、脳卒中や心臓病など、命にかかわる病気につながります。特に中性脂肪やLDL(悪玉)コレステロールが高い方は注意が必要です。

生活習慣改善のポイント

禁煙



・たばこを吸うとニコチンの影響で血圧が上昇します。
・たばこに含まれる化学物質は、血管に直接ダメージを与え、動脈硬化の原因となります!

**たばこはメタボリックシンドロームを助長させます!
禁煙外来などを活用し、ぜひこの機会に禁煙しましょう!**

運動

・ウォーキングやサイクリングなどの「有酸素運動」がおすすめです。

・10分以上の運動を1日合計30分以上、または週180分以上が目安!

今の生活にプラス10分(約1000歩)は歩く習慣をつけましょう

- ・掃除や洗濯などの家事をこまめにやる。
- ・近い場所へ行くときは歩いていく。駐車場は遠くへ停める。
- ・エレベーターやエスカレーターは使用せず、できるだけ階段を使う。



食事

- ・腹八分目にして食べ過ぎを解消しましょう
- ・外食は和定食にしましょう
- ・間食は控えましょう
- ・塩分は控えましょう(1日の摂取目標:男性7.5g未満 女性6.5g未満)

- ・「ながら食い」はやめましょう
- ・ゆっくりよく噛んで食べましょう
- ・野菜や海藻から食べましょう

減塩のポイント

- ※加工品・チーズ・パンは控える
- ※しょうゆはかけるよりつける
- ※味噌汁などの汁ものは1日1回にする
- ※味付けにはダシをきかせる
- ※ラーメンやそば・うどんの汁は残す
- ※漬物や佃煮をたべる回数を減らす

積極的に摂取したい食品

・青魚を食べる ・大豆製品を多くとる ・野菜や海藻、きのこのなどの食物繊維、ビタミン類をとる



控えめにしたほうがいい食品

・脂質の多い肉類、コレステロールの多い食品、間食は控えめに



新がん検診センター建設募金

■法人

仙台商工会議所、学校法人 菅原学園

■医師会

遠田郡医師会

一般社団法人 遠田郡医師会

加美郡医師会

一般社団法人 加美郡医師会

岩沼市医師会

一般社団法人 岩沼市医師会

気仙沼市医師会

医療法人 尚仁会 森田医院

石巻市医師会

一般社団法人 石巻市医師会

柴田郡医師会

一般社団法人 柴田郡医師会、猪股芳文

仙台市医師会

山崎日出雄、一般社団法人 仙台市医師会、医療法人 社団 本島内科胃腸科クリニック、松尾けんこうクリニック、東北労災病院

大崎市医師会

一般社団法人 大崎市医師会、寛内科胃腸科クリニック

桃生郡医師会

一般社団法人 桃生郡医師会

白石市医師会

(医)梅津内科医院、一般社団法人 白石市医師会

名取市医師会

医療法人ウイズユー 原田乳腺クリニック

亘理郡医師会

一般社団法人 亘理郡医師会

尚仁会

野崎公男、遠藤博之

■個人

高橋啓、長谷川圭三、伏見とま子、安住泰子、木村毅

■職員

熊谷和夫、布田直樹、三部哲也、及川貴司、熊谷洋美、齋藤千晴、泉田京子、伊藤尚人、橋本真里子、阿部洋、武田千春、鈴木里恵

株式会社仙台カントリークラブ、東北放送株式会社、菅基建設株式会社、アルプスアルパイン株式会社、学校法人 朴沢学園、株式会社T・D・C、松林商事株式会社、株式会社銀座薬局 代表取締役 牛澤啓至、東日本メディカルシステム株式会社、株式会社東北保険グループ 代表取締役 佐藤秀樹、ワタヒョウ株式会社、株式会社ひまわり薬局、上西産業株式会社、(株)三陸新報社、株式会社東北プリント、株式会社佐藤製線所、古川商工会議所、マルニ食品株式会社 代表取締役 二階堂玲子、熱海建設株式会社、宮城石灰工業株式会社、仙台弁護士会、学校法人明和学園いずみ高等支援学校 理事長 遠藤正敬、株式会社イメージパーク、仙台和光純薬株式会社 代表取締役 太田三郎、東北特殊工業株式会社 代表取締役 赤間一司、涌谷観光株式会社、(株)藤崎、株式会社宮城テレビ放送 経営推進部、青葉緑化工業株式会社、株式会社メガネの相沢、クレア工業株式会社、仙台商工会議所、株式会社渡辺採種場、(株)三株園茶舗、東日本興業株式会社、宮城県自動車事業協同組合、カメイ株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社仙台放送、白石商工会議所、宮城十條林産株式会社、株式会社佐浦、塩釜商工会議所 会頭 桑原茂

■議会

涌谷町議会、大衡村議会、色麻町議会、東松島市議会、石巻市議会議員会、七ヶ浜町議会互助会、利府町議会、大河原町議会議員互助会、名取市議会議員会、丸森町議会、女川町議会議務局、亘理町議会議員会、大和町議会、富谷市議会、柴田町議会、蔵王町議会、栗原市議会、七ヶ宿町議会、多賀城市議会、松島町議会、村田町議会、美里町議会

岩沼市議会

布田恵美、植田美枝子、渡辺ふさ子、高梨明美、田村宏山元町議会
高橋眞理子、竹内和彦、遠藤龍之、岩佐孝子、阿部均、菊地康彦、高橋建夫、岩佐哲也、大和晴美、岩佐秀一、渡邊千恵美、伊藤貞悦、品堀栄洋

大郷町議会

佐藤牧、赤間茂幸、吉田耕大、石川良彦、若生寛、千葉勇治、石垣正博、高橋重信、和賀直義、石川壽和、熱海文義、田中みつ子、佐藤千加雄、大友三男

塩竈市議会

桑原成典、志賀勝、浅野敏江、柏恵美子、西村勝男、今野恭一、志子田吉晃、鎌田礼二、伊勢由典、鈴木悦代、辻畑めぐみ、小高洋、伊藤博章、菅原善幸、小野幸男、鈴木新一、佐藤公男、土見大介

■医師会

遠田郡医師会

医療法人章眞会熱海医院、袖井クリニック

角田市医師会

医療法人本多友愛会、高山敦、金上病院、(医)社団小川整形外科クリニック

岩沼市医師会

板橋眼科医院、有田大作、医療法人五葉会山本クリニック、医療法人社団みやぎ清耀会緑の里クリニック、(医)丹誠会

名取市医師会

さとうクリニック、桑島一郎、曾我内科こどもクリニック、医療法人社団洞口会、金沢内科胃腸科、ひまわり内科消化器科クリニック、医療法人ウイズユー、医療法人イルソーレ、毛利虎一、医療法人武田内科医院

黒川医師会

医療法人盟陽会富谷中央病院、新富谷S・Sレディースクリニック、吉岡まほろばクリニック

柴田郡医師会

さくら小児科医院、大沼胃腸科内科外科医院、みやぎ県南中核病院 附属村田診療所、甘糟医院、医療法人庄司クリニック、やすだ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック、宮上順志、(医)玉川太田内科、かわち医院、国民健康保険川崎病院

登米市医師会

医療法人社団亮梓会三浦消化器内科、医療法人二瓶内科胃腸科医院、登米市立豊里病院、八嶋中央診療所、遊佐内科胃腸科医院、医療法人社団田中医院、登米市立登米市民病院、医療法人社団明徳会森整形外科医院、佐藤医院

桃生郡医師会

医療法人医徳会真壁病院、医療法人社団信和会ものうファミリークリニック

仙台市医師会

椎葉健一、田所慶一、加茂耳鼻咽喉科、(医)若林浜田クリニック、光が丘内科クリニック、荒巻なべ胃腸科・内科クリニック、南光台伊藤クリニック、中田内科胃腸科医院、南大野田こいけクリニック、今井克忠、松永女性クリニック、(医)永井小児科医院、医療法人社団仙台北クリニック、長島内科医院、ユキクリニック、仙台今村クリニック、医療法人社団向明会五十嵐内科クリニック、医療法人桑友会佐藤裕也眼科医院、医療法人有麟堂 堀田内科、千葉内科医院、医療法人社団菊地眼科医院、かさい内科クリニック、妹尾重晴、長池産婦人科、森元富造、北中山皮膚科、南光台みやぐち内科クリニック、泉パークタウンクリニック、泉ヶ丘クリニック、医療法人社団沖野内科医院、山本眼科医院、石田一彦、医療法人翔仁会、医療法人社団秀薫会池田クリニック、湯村医院、医療法人佐竹医院、豊田隆謙、阿部内視鏡内科、医療法人ゆうき婦人科産科クリニック、森ウイメンズクリニック、曾根眞一郎、(医)秀放会仙台総合放射線クリニック、医療法人至誠会、医療法人賢善会宮田医院、社会医療法人康陽会 中嶋病院、プレシオーソクリニック、(医)松田会八木山内科・皮膚科クリニック、森洋子、一般財団法人広南会 広南病院、樋渡信夫、泉レディースクリニック、相田内科医院、佐藤玄徳内科クリニック、齋藤親弘、台原高柳病院、菊地亮介、佐藤彰、わだゆうこ眼科クリニック、仙台赤十字病院、医療法人社団仙台腎泌尿器科、一般社団法人共栄会、医療法人社団三好耳鼻咽喉科クリニック、医療法人ひろせ会、医療法人社団福室クリニック、堀克孝、遊佐明、医療法人社団フォーギブネス、医療法人仙台胃腸クリニック、医療法人社団小林眼科医院、医療法人社団嘉数会、医療法人貝山仁済会、鬼怒川博久、あんどろクリニック、医療法人宏人会、宮崎豊、いのうえ小児科クリニック、南光台やまもと小児科、ほし外科医院、作山

新がん検診センター建設募金のお願い

実施要項

- 募金の目的 宮城県対がん協会新がん検診センター建設事業の推進
- 募金目標額 1億円
- 募金の期間 2022年7月1日～2024年3月31日
- 銀行口座名 公益財団法人 宮城県対がん協会
- 銀行名および口座 七十七銀行本店(普)5120717
- 免税措置 当法人は、「特定公益増進法人」であることの認定を宮城県より受けております。お寄せいただきます寄付金は、所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に規定された寄付金として免税措置を受けることができます。



【完成予想図】

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いします。

お問い合わせ 法人総務課法人事業係 TEL022-263-1637(直通)

篤志・黒川・賛助会費

■篤志寄付金

登米市立登米中学校

■黒川利雄がん研究基金

及川貴司、大友美智子

■法人

株式会社橋本タイヤサービス、宮城商事株式会社、宮

城中央ヤクルト販売株式会社、株式会社佐々直、若生工業株式会社、カイリク株式会社、有限会社サトー孔版印刷 代表取締役 佐藤雄二、渥美工業(株) 仙台支店、株式会社ダイコクヤ、株式会社リバーヴ、気仙沼商工会議所、志津川オリエント工業株式会社、常盤洋紙株式会社、株式会社羽田電機工業所、公益社団法人仙台市防災安全協会、石巻魚糧工業株式会社、有限会社ふじや千舟、株式会社あさの、株式会社新日電業商会、株

昌則、公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院、小林内科医院、わたるクリニック、大澤内科医院、安田病院、ふるさと往診クリニック、南中山内科クリニック、医療法人羊会、医療法人社団 村口きよ女性クリニック、医療法人社団宏洋会 清水内外科医院、大瀧忠、桂島いずみクリニック、藤田直孝、今村茂、医療法人結城クリニック、高橋剛、宮澤循環器科内科クリニック、馬場眼科、一般財団法人厚生会

大崎市医師会

医療法人ありま小児科医院、沼田功、佐藤医院、医療法人森皮膚科医院、医療法人永仁会永仁会病院、大崎市病院事業大崎市民病院、医療法人社団千葉医院、寛内科胃腸科クリニック、古川星陵病院、医療法人社団近江医院、医療法人社団慈篤会三浦病院、医療法人高橋医院、(医) 星眼科医院、大崎市病院事業大崎市民病院鹿島台分院、大崎市病院事業大崎市民病院岩山山分院

白石市医師会

医療法人社団内方医院、公立刈田総合病院、(医) 梅津内科医院、恒心会佐藤医院

亶理郡医師会

医療法人社団松村クリニック、医療法人三浦クリニック、熊谷明、みやぎ南部整形外科クリニック

栗原市医師会

医療法人社団水天会宮城島クリニック、一迫内科クリニック、医療法人社団公和会、栗原市病院事業 栗原市立若柳病院、医療法人社団ささき産婦人科クリニック、栗原市立栗原中央病院

加美郡医師会

医療法人社団伊藤医院、医療法人佐々木胃腸科、加美郡保健医療福祉行政事務組合会計管理者

■宮婦連

大島婦人会、稲井婦人会、松岩婦人会、松島町婦人会、気仙沼市婦人会連絡協議会

逢隈婦人会

三品美智子、渡邊芳、齋藤多寿子、佐藤礼子、佐藤祐子

一迫婦人会

三浦一子、松田文子、狩野良子、狩野恵美、菅原郁子

永野支部婦人会

佐藤ひさ代

遠田郡地婦連

中埜地区 栗野トシ子、南郷地区 佐々木敬子、涌谷町地域 瀧川澄江、小牛田地区 鑑清枝、青生地区 菊地千恵子

塩釜市地域婦人団体連絡協議会

鈴木綾子、佐々木和恵、石川とし子、千葉知子、小野和恵、小野秀子、中村和子、阿部嶋衛、大野照子、三浦あいこ、阿部豊子、浅野ひろ子

花山婦人会

千葉とくみ、及川喜留子

丸森婦人会

上村文子

吉田西部婦人会

小野節子、松山芳子、大河原みつ子、大槻かづ子、安藤美重子

吉田婦人会

岩佐直子、小野典子、穴戸浩子、渡部とも子、齋藤桂

子、小野よし子、丸子きみ子、赤間幸子

荒浜婦人会

阿部みや子、馬場道子、永濱由紀子、渡部とし子、濱野かじ子、穴戸ひろ子、須郷貞子、佐藤富美子、森恵子

志波姫婦人会

代表 相馬桂子、菅原峰子、三浦末枝

七ヶ浜町婦人会

千葉志美枝、三島知恵子、佐藤美代子、相澤由美子、伊藤志久子

若柳婦人会

川嶋祐子、西島たか子、三浦千代、鈴木ひで子、千葉和子

女川町婦人会

遠藤悦子、佐藤えい子、勝又菊枝、鈴木信子、梁取礼子、岸サワ子、木村佳代子、東海久美子、高橋京子、小山栄子

新田婦人会

三塚ふみ子、星三枝、伊藤ゆみ子、千葉郁子、小林愛子、三塚まつ子

多賀城市婦人会連合会

石塚美代子、眞山祐子、宮崎みち子、大内芳子、小幡公子、渡辺とめ、平野美津江、松村敬子、佐藤セツ、平山裕子、鈴木絹子、菊田百合子、小野雅代、笹原うた子、伊藤輝美、渡辺千代子、小野絹子、白濱宣子、庄子よし江、櫻井やえ子、佐藤育子、阿部純子、鈴木安子、伊藤友子、小野くに子、根本菊江

大内婦人会

荒祥子、石田真利子、森れい子

大和町吉岡婦人会

浅野洋子、児玉久子、若生みさを

大和町吉田婦人会

佐々木裕美、今野玉枝、堀籠美江子

大和町鶴巣婦人会

犬飼元子、門間勝枝

登米町婦人会

猪股さく子、小堀恵子、佐藤和代、源間まゆみ、佐々木きよ子、阿部晴美、佐々木栄美、千葉信子

白石市地域婦人団体連絡協議会

渡邊幸子、志賀千賀子、大野のり子、島影幸子、齋藤ゆう子、太田さき子、佐藤きよ子、大野キミノ、大宮よし子、吉川淑子

筆甫婦人会

目黒房子

米山婦人会

後藤直子、三浦きさ子、高橋ひさよ

豊里婦人会

大友秀子、遠藤しみ子、芳賀芳枝、只野好子、八木しみ子

名取市地婦連

館腰婦人会、愛島婦人会、増田西婦人会、名取が丘婦人会、閑上婦人会、増田婦人会、高橋志津枝、渡辺洋子

利府町婦人会

佐藤ちよ、本間美代子、貝山昭子、伊藤みつ子、木村みゆき、林せつ子、長井礼子、伊藤喜美子、西澤久子、郷家百合子、鈴木祐子、品部陵子、亀山律子、永塚清子、菅野維子、小山田加代子、櫻井郁子、伊藤恵子、佐々木美貴子、櫻井恵美子、守京子、石橋節子、寺嶋直子、伊

藤和江、大友明美、橋本こずえ、桜井しづ代

亶理婦人会

三戸部とし江、小野寺貞子、戸引よし子、高橋泰子、馬場さえ子、佐野みさる、佐藤キクヨ、岩見富子、渡辺みつ江、佐藤徳子、相原成子

鶯沢婦人会

千葉たつ子、菅原キクミ、菅原悦子

■個人

内海春壽、菅原伸之、市川信昭、松坂英明、佐藤艶子、野崎公男、橘川光男、辻るみ子、柴原和子、亀山省吾、萬里崎吉政、佐藤京子、佐々木政子、安藤裕子、塩崎晴朗、猪狩惺、佐野國男、阿部せつ、鈴木八郎、根元京子、土井きよる、阿部はつ江、加藤玲子、越後愛子、本郷町内会 会長 佐藤達朗、稲垣晃、中澤さく子、櫻田良子、山口正一、早坂征市、久保田光子、高橋堅固、岡嶋泰子、後藤ふじる、只野一宏、平田誠、山口尚、高橋正子、弁護士法人三島法律事務所、谷川原真吾、関口清、

亀岡直樹、高橋久子、久道真一、久道貴子、ひまわり法律事務所 弁護士 佐々木健次、安住泰子、犬飼健郎法律事務所 弁護士 犬飼健郎、石黒典子、佐藤孝之助、菊地敦子、佐藤好子、阿部利子、小野昭子、阿部かしく、笹原啓子、櫻田孝子、渡部英夫、紺野久子、亀山喜美子、佐藤いせよ、千葉昌男、村上裕重、山口正彦、佐藤滋、五島さよ子、出川博一、小松和久、菅間和子、武田雅比人、郡山芳治

■職員

布田直樹、三部哲也、湯田教恵、永窪紀代美、千坂みゆき、大友美智子

賛助会員 (個人・法人の継続寄付) を募集しております。

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の**「所得控除」と「税額控除」のいずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、**「特定公益増進法人」**に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。



寄付金の種類

■賛助会員寄付	協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
個人会員	1口 1,000円以上の寄付者(個人)
法人会員	1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
特定維持会員	寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
■篤志寄付	協会の活動に対する一時的な寄付金
■黒川基金	黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人 宮城県対がん協会 法人総務課 法人事業係

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30 TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548
ホームページアドレス <https://www.miyagi-taigan.or.jp>

2024年度「黒川利雄がん研究基金」による研究助成金の応募要領

趣 旨

この基金は、1989年(平成元年)に宮城県対がん協会の初代会長故黒川利雄先生の遺志を受け、がんの予防および早期発見に関する技術の開発等に係わる医師等の研究助成を行い、がん対策の長期的な展望を開くために創設した。

2023年度までに、139人に対し8,890万円の助成金を交付している。

研究対象分野 と 応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

なお、公益財団法人宮城県対がん協会の理事または貴所属長の推薦を必要とする。

①がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発

②がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

■ 応募件数および推薦件数

同一施設・分野からの応募は1件までとし、推薦件数は1人1件とする。

■ 助成金の額

助成総額は220万円とし、研究助成金1件あたり100万円を限度とする。

■ 応募方法

応募希望者は、当協会ホームページより申請書類をダウンロードの上、下記住所あてに郵送で申し込むこと。尚、応募締切期日は、次項のとおりとする。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会

「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛

TEL.022-263-1637 FAX.022-263-1548

<https://www.miyagi-taigan.or.jp>

■ 期 日

[応募締切] 2024年3月末日

[発 表] 2024年5月予定

[交 付] 2024年6月予定

■ 発表方法

選考の結果については、申請者及び推薦者宛に通知する。

■ 選考方法

公益財団法人宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」運営委員会において審査し、会長が決定する。

■ 研究成果の報告

本助成金を受けたものは、翌年3月末日までに研究の成果(業績)を提出することとし、研究が完結していないときは、中間報告として提出すること。

報告書式は問わないが、研究成果を発表した場合は、その別刷りを提出すること(電磁媒体でも可)。

なお、報告書を提出されない場合、または研究の取り止めもしくは中止した場合については、研究助成金の交付は取り消しとする。その場合、研究助成金は速やかに黒川利雄がん研究基金に返金すること。

■ 注意事項

本助成金により研究成果を発表する場合は「黒川利雄がん研究基金」によることを明記すること。

英文》This work was supported in part by a Grant-in-Aid from “KUROKAWA CANCER RESEARCH FOUNDATION”

■ 宛 先

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会
「黒川利雄がん研究基金」事務局